

口腔保健推進学分野

【論文】

- 1) N. Amarasena, A. Ekanayake and H. Miyazaki : Association between smoking, betel chewing and gingival bleeding in rural Sri Lanka, *J. Clin. Periodontol.*, 30 : 403-408, 2003.
- 2) A. Yoshihara, K. Fukai, Y. Morozumi, T. Hirotsu and H. Miyazaki : Improvement in gingivitis over 18 months by elementary school-based prevention programme recommending the use of dental floss, *J. Dent. Hlth*, 53 : 91-97, 2003.
- 3) Y. Shimazaki, I. Soh, Y. Koga, H. Miyazaki and T. Takehara : Risk factors for tooth loss in the institutionalised elderly, a six-year cohort study, *Community Dental Health*, 20 : 123-127, 2003.
- 4) H. Senpuku, A. Sogame, E. Inoshita, Y. Tsuha, H. Miyazaki and N. Hanada : Systemic diseases in association with microbial species in oral biofilm from elderly requiring care, *Gerontology*, 49 : 301-309, 2003.
- 5) N. Takano, Y. Ando, A. Yoshihara and H. Miyazaki : Factors associated with root caries incidence in an elderly population, *Community Dental Health*, 20 : 217-222, 2003.
- 6) K. Nakamura, Y. Hori, M. Nashimoto, Y. Okuda, H. Miyazaki, Y. Kasai and M. Yamamoto : Nutritional covariates of dietary calcium in elderly Japanese women : results of a study using the duplicate portion sampling method, *Nutrition*, 19 : 922-925, 2003.
- 7) N. Amarasena, A.N. Ekanayake, L. Herath and H. Miyazaki : Socio-demographic risk indicators for tooth mortality in rural Sri Lankans. *Asia Pac. J. Public Health*, 15(2) : 105-110, 2003.
- 8) H. Ogawa, P. Soe, B. Myint, K. Sein, M.M. Kyaing, K.K. Maw, H. Oo, M. Murai and H. Miyazaki : A pilot study of dental caries status in relation to knowledge, attitudes and practices on oral health in Myanmar, *Asia Pac. J. Public Health*, 15(2) : 111-117, 2003.
- 9) M. Ayabe, T. Yahiro, Y. Mori, K. Takayama, T. Tobina, K. Ishii, Y. Yoshitake, H. Miyazaki, A. Kiyonaga, M. Shindo and H. Tanaka : Simple assessment of lactate threshold by means of the bench stepping in older population, *Int. J. Sport and Health Sci.*, 1(2) : 207-215, 2003.
- 10) T. Murata, Y. Fujiyama, T. Yamaga and H. Miyazaki : Detection of dimethyl sulfide in mouth air as the predominant volatile sulfur compound in an asthmatic patient who complained of bad breath : side effect of suptatostilate? *Oral Diseases*, 9 : 273-276, 2003.
- 11) K. Nakamura, Y. Hori, M. Nashimoto, Y. Okuda, H. Miyazaki, Y. Kasai and M. Yamamoto : Dietary calcium, sodium, phosphorous, and protein and bone metabolism in elderly Japanese women : A pilot study using the duplicate portion sampling method, *Nutrition*, 20 : 340-345, 2004.
- 12) S. Sakuma, S. Kobayashi, S. Ikeda and H. Miyazaki : Fluoride mouth rinsing proficiency of Japanese preschool-aged children, *Int. Dent. J.*, 54, in press, 2004.
- 13) H. Senpuku, A. Tada, T. Yamaga, N. Hanada and H. Miyazaki : Relationship between volatile sulfur compounds concentration and oral bacteria species detection in the elderly, *Int. Dent. J.* 54, in press, 2004.
- 14) A. Yoshihara, N. Hanada and H. Miyazaki : A longitudinal study of the relationship between periodontal disease and bone mineral density in an elderly Japanese population. *J. Clin. Periodontol.*, 31, in press, 2004.
- 15) H.N.D. Amarasena, N. Ikeda, K.K.S. Win, T. Takehara and H. Miyazaki : Smoking, age, gender and periodontitis - a Cambodian perspective. *Asia Pac. J. Public Health*, 16, in press, 2004.
- 16) R. Watanabe, K. Hanamori, H. Kadoya, M. Nishimuta and H. Miyazaki : Nutritional intakes in community-dwelling older Japanese adults : High intakes of energy and protein based on high consumption of fish, vegetables and fruits provide sufficient micronutrients. *J. Nutri. Sci. Vitaminol.*, 50, in press, 2004.
- 17) 樋浦健二, 葭原明弘, 宮崎秀夫 : パノラマX線を用いた高齢者の辺縁部および根尖部の歯周組織健康状態に関する研究, *口腔衛生会誌*, 52 : 130-136, 2003.
- 18) 今井理江, 深井浩一 : 歯肉出血指数の臨床応用に関する研究, *日本歯周病会誌*, 45 : 229-240, 2003.
- 19) 今井 顕, 濱寄朋子, 笠井幸子, 粟野秀慈, 邵 仁浩, 安細敏弘, 朴 永哲, 宮崎秀夫, 竹原直道 : 韓国人の歯列弓および口蓋の形態に関する形質人類学的研究, *口腔衛生会誌*, 53 : 574-584, 2003.
- 20) 高野尚子, 葭原明弘, 安藤雄一, 小川祐司, 廣富敏伸, 山賀孝之, 花田信弘, 宮崎秀夫 : 高齢者の根面う蝕の有病状況と歯冠う蝕との関連, *口腔衛生会誌*,

53: 592-599, 2003.

- 21) 興地隆史, 福島正義, 葎原明弘, 子田晃一, 小野和宏, 小林 博, 魚島勝美, 小山純市, 植田耕一郎, 高木律男, 前田健康, 花田晃治: 新潟大学歯学部卒前教育における客観的臨床能力試験(OSCE)の導入, 日歯教誌, 18(2): 300-307, 2003.
- 22) 小林孝雄, 中島啓介, 葎原明弘, 宮崎秀夫, 小鷲悠典: 高齢者における歯周組織の状態と血清IgGサブクラスとの関連, 日本歯周病会誌, 46: 31-38, 2004.

【著書】

- 1) 金子 昇, 宮崎秀夫: 第3章 改良MSB培地を用いたう蝕疫学調査(第3部 ミュータンス連鎖球菌の検出技術), ミュータンス連鎖球菌の臨床生物学, 90-97, 2003.
- 2) 宮崎秀夫: 第6章 う蝕の疫学, う蝕の診断とリスク予測 - 実践編 - (Per Axelsson, 高江洲義矩監訳), クインテッセンス出版, 東京, 229-243, 2003.
- 3) 宮崎秀夫: 口臭って本当はどんなものなのでしょう?, 口臭ケア - 要介護者の快適な生活のために, (宮崎秀夫・八重垣健編集), 医歯薬出版, 東京, 12-17, 2003.
- 4) 宮崎秀夫: 介護者が行うブラッシング, 口臭ケア - 要介護者の快適な生活のために, (宮崎秀夫・八重垣健編集), 医歯薬出版, 東京, 80-85, 2003.
- 5) 山賀孝之, 宮崎秀夫: 口の中が乾燥していると, 臭いが強く感じられるような気がしますか?(口臭と口腔乾燥症の関係), 口臭ケア - 要介護者の快適な生活のために, (宮崎秀夫・八重垣健編集), 医歯薬出版, 東京, 40-43, 2003.
- 6) 村田貴俊, 宮崎秀夫: 口臭除去のための薬剤(含嗽剤), 口臭ケア - 要介護者の快適な生活のために, (宮崎秀夫・八重垣健編集), 医歯薬出版, 東京, 94-97, 2003.
- 7) 村田貴俊, 宮崎秀夫: 分子生物学歯科小事典(分担, 西澤俊樹監訳), 口腔保健協会, 東京, 2003.
- 8) 宮崎秀夫: 口臭とその予防, 米満正美他編, 新予防歯科学第3版, 医歯薬出版, 東京, 147-152, 2003.
- 9) 葎原明弘, 宮崎秀夫: 歯科疾患の疫学, 新予防歯科学第3版, 医歯薬出版, 東京, 189-200, 2003.
- 2) 葎原明弘, 清田義和, 小川祐司, 高野尚子, 廣富敏伸, 山賀孝之, 金子 昇, 佐久間汐子, 八木 稔, 宮崎秀夫: 高齢者歯科学への学際的アプローチ, 新潟歯学会誌, 33, 1-9, 2003.
- 3) 宮崎秀夫: 歯周病医療から健康科学への貢献とその展望, 疫学の立場から, ザ・クインテッセンス, 22, 1160-1164, 2003.
- 4) 柴田佐都子, 宮崎秀夫: World topics, 米国成人における無歯顎と食事・栄養の関係, 衛生士誌, 27(6) 71, 2003.
- 5) 米満正美, 岸光男, 稲葉大輔, 宮崎秀夫, 零石聡: 歯肉炎と唾液検査の関連について, 日本歯科評論, 63(8) 69-74, 2003.
- 6) 西川幸枝, 宮崎秀夫: World topics/ 思春期のライフスタイルの一つとしての歯磨き行動は教育レベルを予測する, 衛生士誌, 27(10) 85, 2003.
- 7) 日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会(平田幸夫, 佐久間汐子, 八木 稔, 他13名): フッ化物応用委員会報告「わが国の幼児期ならびに学齢期におけるフッ化物配合歯磨剤の使用状況」, 口腔衛生会誌, 53, 611-614, 2003.
- 8) 葎原明弘, 片岡照二郎: デンタルフロスを使った歯肉炎予防のすすめ, 2003 歯科保健だより, 50: 6-7, 2003.
- 9) 宮崎秀夫: World topics/2020年の世界口腔保健目標, 衛生士誌, 28(2) 76, 2004.
- 10) 武内博朗, 金子 昇, 野村義明, 花田信弘: 唾液検査によってリスクはどこまでわかるか, クインテッセンス別冊 YEAR BOOK 2003, 106-107, 2003.

【研究成果報告書】

【商業誌・その他】

- 1) N. Amarasena, A. N. Ekanayaka, L. Herath and H. Miyazaki: Response to the comment, The smoking-periodontitis association in developing nations, Community Dent. Oral Epidemiol., 31, 159-160, 2003.
- 1) 宮崎秀夫: 口腔保健と全身的な健康状態の関係について, 高齢者の追跡調査, 21-29, 2003. (平成14年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 2) 葎原明弘, 花田信弘, 宮崎秀夫: 高齢者における骨密度と歯周疾患の関連について, 30-48, 2003. (平成14年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 3) 葎原明弘, 杉田典子, 山本幸司, 小林哲夫, 廣富敏伸, 小川祐司, 吉江弘正: 高齢者におけるFcrRIIb遺伝子多型と喫煙経験が歯周炎の進行に及ぼす影響について, 49-69, 2003. (平成14年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 4) 小川祐司, 葎原明弘, Najith Amarasena, 宮崎秀夫: 高齢者の歯周疾患における喫煙と血中ビタミンC濃度との関係の調査, 150-151, 2003. (平成14年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 5) 清田義和, 葎原明弘: 高齢者の咀嚼能力と日常生活動作遂行能力との関連性について, 172-181, 2003.

- (平成14年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
- 6) 廣富敏伸: 測定部位数減少による歯周組織の過小評価に関する研究, 182-183, 2003. (平成14年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
 - 7) 山賀孝之: 口腔内揮発性硫化物の歯周疾患進行のプレディクターとしての可能性, 184-187, 2003. (平成14年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
 - 8) 河野正司, 清田義和, 五十嵐直子, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 高齢者の顎機能障害と咬合力に関する疫学研究, 口腔保健と全身的な健康状態の関連について, 188-201, 2003. (平成14年度厚生科学研究報告 H13-医療-001)
 - 9) 宮崎秀夫: 高齢者における歯周疾患疫学モデルの構築に関する研究, 2003. (平成13-15年度日本学術振興会科学研究報告 特別研究員奨励費 01340)
 - 10) 西牟田守, 佐久間汐子, 古賀 寛: 飲料水中フッ化物濃度が低濃度および中等度(約0.6ppm)地域に在住の小児における食事からのフッ化物摂取量(陰膳食法による), 60-66, 2003. (平成14年度厚生労働科学研究報告書 H12-医療-003)
 - 11) 八木 稔, 小林清吾: 水道水フッ化物添加と子宮ガン死亡率に関する論文への反証, 37-42, 2003. (厚生労働科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業) 歯科疾患の予防技術・治療評価に関するフッ化物応用の総合的研究平成14年度研究報告書 H12-医療-003)
 - 12) 可児徳子, 八木 稔: フッ化物歯面塗布の技法に関する検討, 159-164, 2003. (厚生労働科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業) 歯科疾患の予防技術・治療評価に関するフッ化物応用の総合的研究平成14年度研究報告書 H12-医療-003)
 - 13) 小川祐司, Poul Erik Petersen, 宮崎秀夫: 世界保健機関(WHO)との協力研究 - 21世紀のグローバルオーラルヘルストラトジーの構築 -, 2003. (平成15年度8020推進財団公募研究報告)
 - 14) 安藤雄一, 長田 齊, 青山 旬, 石川 昭, 井下英二, 佐々木健, 高德幸男, 平田幸夫, 山田善裕, 葭原明弘, 深井穂博: 厚生科学研究補助金(健康科学総合: 歯科保健水準を系統的に評価するためのシステム構築に関する研究) 分担研究報告書, わが国における歯科保健の情報収集・提供システムの現状と今後の対策, 27-41, 2003.
 - 15) 安藤雄一, 宮崎秀夫, 高德幸男, 葭原明弘, 深井穂博: 厚生科学研究補助金(健康科学総合: 歯科保健水準を系統的に評価するためのシステム構築に関する研究) 分担研究報告書, 市町村における歯科保健計画策定の支援を目的としたモデル調査事業の報告, 43-73, 2003.
 - 16) 石上和男, 河内 博, 葭原明弘, 大内章嗣, 豊里晃, 安藤栄吾, 伊藤加代子, 高橋純子: 厚生科学研究補助金(長寿科学総合: 情報ネットワークを活用した行政・歯科医療機関・病院等の連携による要介護者口腔保健ケアシステムの開発に関する研究) 分担研究報告書, 行政機関・歯科医師会等の連携による要介護者口腔保健医療ケアシステムの開発, 6-45, 2003.
- 【講演・シンポジウム】
- 1) H. Miyazaki: Periodontal epidemiology: Problems in developing regions, 11th Biennial Congress of the International Academy of Periodontology, Cape Town, October 24-27, 2003.
 - 2) H. Miyazaki: Periodontal problems in Asian countries, The National Oral Health Conference, Phnom Penh, January 14-15, 2004.
 - 3) 宮崎秀夫: 第4回「シルバーからゴールドパワーを引き出そう!」, 新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔保健推進学分野主催, 新潟市, 2003年4月20日.
 - 4) 佐久間汐子: 安全にフッ素洗口を実施するために, 豊栄市フッ素洗口学習会, 豊栄市, 2003年4月24日.
 - 5) 佐久間汐子: むし歯予防と適切なフッ化物応用, 富山むし歯予防フッ素推進市民ネットワーク15年度講演会, 高岡市, 2003年5月25日.
 - 6) 八木 稔: フッ素洗口の効果と安全性について, 生きる力を育てる「げんき歯つらつ湖東の子」健康づくり事業, 湖東町, 2003年6月5日.
 - 7) 八木 稔: 「口腔保健と全身の健康」について, 平成15年度新潟県市町村歯科保健担当者等研修会, 新潟市, 2003年7月10日.
 - 8) 佐久間汐子: 生涯を通じたむし歯予防対策, 平成15年度新潟県市町村歯科保健担当者等研修会, 新潟市, 2003年7月10日.
 - 9) 宮崎秀夫: 「口腔ケアと病院の役割」高齢者・要介護者と病院の関わりは? 新潟大学公開講座「お年寄り・寝たきり者の口の健康 - おいしく食べて・楽しく話すために - 」, 新発田市, 2003年9月5日.
 - 10) 宮崎秀夫: 口臭臨床 - 検査・診断, 口腔衛生学会総会, 北九州市, 2003年9月25-27日.
 - 11) 八木 稔: 水原町におけるむし歯予防 - むし歯予防とフッ化物応用について -, 水原町むし歯予防研修会, 水原町, 2003年10月9日.
 - 12) 宮崎秀夫: さわやかプレス, 歯周病学会, 新潟市, 2003年10月18日.
 - 13) 宮崎秀夫: 口臭治療の展望, 歯科人間ドック学会,

- 横浜市, 2003年12月7日.
- 14) 佐久間夕子: 8020をめざして 生涯自分の歯で食べるために, Total Health Promotion 指導者研修会, 新潟市, 2003年12月11日.
- 15) 宮崎秀夫: ここまできた呼吸検査, 平成15年度歯科臨床ワークショップ, 盛岡市, 2004年1月17-18日.
- 16) 八木 稔: 保育園におけるむし歯予防対策 - むし歯予防とフッ化物応用について -, 保育園におけるむし歯予防研修会, 水原町, 2004年1月24日
- 17) 佐久間夕子: 地域みんなで歯の健康づくりの基礎, 健康しもにた21「8020」推進協議会学習会, 群馬県下仁田町, 2004年2月6日.
- 18) 八木 稔: フッ化物とう蝕予防, 下関市学校保健会, 下関市, 2004年2月19日
- 19) 佐久間夕子: 高齢者における刺激唾液流量とう蝕有病状況, 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ - 口腔保健と全体的な健康状態との関連について -, 東京, 2004年2月22日.
- 20) 廣富敏伸: 新潟市高齢者における5年間の歯周病進行に関する研究, 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ - 口腔保健と全体的な健康状態との関連について -, 東京, 2004年2月22日.
- 21) 山賀孝之: 高齢者の歯周病進行と揮発性硫黄化合物濃度の関係, 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ - 口腔保健と全体的な健康状態との関連について -, 東京, 2004年2月22日.
- 22) 葭原明弘: 食事秤量調査による高齢者の栄養摂取量, 随時尿中成分と歯科疾患との関連, 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ - 口腔保健と全体的な健康状態との関連について -, 東京, 2004年2月22日.
- 23) 八木 稔: アンケート調査による口腔に関する訴え, かめる食品, 歯みがき行動, および歯科的処置と日常身体活動状況との関連 - 1年間の変化をみて -, 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ - 口腔保健と全体的な健康状態との関連について -, 東京, 2004年2月22日.
- 24) 山賀孝之: 高齢者の体力と咬合状態の関係, 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ - 口腔保健と全体的な健康状態との関連について -, 東京, 2004年2月22日.
- 25) 清田義和: 70歳高齢者の歯の喪失リスクに関する研究 - 5年後のコホート調査結果 -, 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ - 口腔保健と全体的な健康状態との関連について -, 東京, 2004年2月22日.
- 26) 葭原明弘: 高齢者の5年間における根面う蝕の発生状況とその要因についての研究, 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ - 口腔保健と全体的な健康状態との関連について -, 東京, 2004年2月22日.
- 27) 葭原明弘: 高齢者における歯周組織破壊のRisk Indicatorについて, 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ - 口腔保健と全体的な健康状態との関連について -, 東京, 2004年2月22日.
- 28) 葭原明弘: 高齢者における骨密度と歯周疾患との関連性について, 平成15年度厚生労働科学研究ワークショップ - 口腔保健と全体的な健康状態との関連について -, 東京, 2004年2月22日.

【学会発表】

- 1) Yoshihara, A., Hanada, N. and Miyazaki, H.: A longitudinal study of the relationship between periodontal disease and bone mineral density in community-dwelling older adults, 81st General Session of the IADR, (J. Dent. Res., 82 (Spec. issue B) B-38, 2003) Goteborg (Sweden) 2003年6月25-28日
- 2) Wang, J., Ohshima, T., Yasunari, U., Namikoshi, S., Yoshihara, A., Miyazaki, H. and Maeda, N.: A study on oral candida and its correlation with oral status in elderly people, 81st General Session of the IADR, (J. Dent. Res., 82 (Spec. issue B) B-135, 2003) Goteborg (Sweden) 2003年6月25-28日
- 3) Seida, Y., Yoshihara, A. and Miyazaki, H.: Risk factor for tooth loss among elderly people in Japan, 81st General Session of the IADR, (J. Dent. Res., 82 (Spec. issue B) B-206, 2003) Goteborg (Sweden) 2003年6月25-28日
- 4) Amarasena, N., Ekanayaka, A., Herath, L. and Miyazaki H.: Factors associated with tooth mortality in rural Sri Lankans, 81st General Session of the IADR, (J. Dent. Res., 82 (Spec. issue B) B-208, 2003) Goteborg (Sweden) 2003年6月25-28日
- 5) Ogawa, H., Yoshihara, A., Amarasena, N. and Miyazaki, H.: Influence of tobacco smoking and the serum level of vitamin C on periodontal disease in elderly patients, 81st General Session of the IADR, (J. Dent. Res., 82 (Spec. issue B) B-362, 2003) Goteborg (Sweden) 2003年6月25-28日
- 6) Yoshihara, A., Watanabe, R., Nishimuta, M., Hanada, N. and Miyazaki, H.: The relationship between dental diseases and nutrient values in the elderly, 52nd Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, (J. Dent. Res., 82

- (Spec. issue C) C-424, 2003) 大阪, 2003年12月1-2日
- 7) Kataoka, S., Sakuma, S., Yoshihara, A. and Miyazaki, H.: Post-eruptive electrical resistance changes in fissure enamel of molars, 82nd General Session of the IADR, Honolulu (USA) 2004年3月10-13日
- 8) Nouno, K., Sakuma, S., Koga, H., Nishimuta M. and Miyazaki, H.: Fluoride intake from foods and beverages in Japanese, 82nd General Session of the IADR, Honolulu (USA) 2004年3月10-13日
- 9) 加藤一誠, 興地隆史, 福島正義, 小林哲夫, 石崎裕子, 宮崎秀夫, 山田好秋, 河野正司, 花田晃治: 臨床予備実習への「臨床入門総合実習」の導入, 第22回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 長崎市, 2003年7月11-12日
- 10) 佐藤史子, 吉田増美, 松井裕美子, 相田真貴子, 菊池洋子, 富田恵子, 細川浩美, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: 乳歯う蝕有病状況の改善にみる弥彦村ビーバー健診の成果, 第14回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会(口腔衛生会誌54: 71, 2004), 新潟市, 2003年7月26日
- 11) 濃野 要, 坂口真弓, 中村 文, 岸 洋志, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 歯周疾患予防における歯間部清掃用具の使用率向上に関する考察, 第14回日本口腔衛生学会甲信越北陸地方会総会(口腔衛生会誌54: 72, 2004), 新潟市, 2003年7月26日
- 12) 山賀孝之, Anton Rahardjo, 小川祐司, 高野尚子, 廣富敏伸, 金子 昇, 宮崎秀夫: 高齢者の口腔内揮発性硫化物と歯周疾患の関係, 第52回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌53: 367, 2003), 北九州市, 2003年9月25-27日
- 13) 佐久間汐子, 葎原明弘, 八木 稔, 宮崎秀夫: フッ化物洗口と選択的シーラント応用による複合プログラムの費用効果分析, 第52回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌53: 388, 2003), 北九州市, 2003年9月25-27日
- 14) 廣富敏伸, 葎原明弘, 小川祐司, 山賀孝之, 高野尚子, 清田義和, 宮崎秀夫: 診査部位数減少による歯周病進行率の過小評価に関する研究, 第52回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌53: 401, 2003), 北九州市, 2003年9月25-27日
- 15) 岸 光男, 阿部晶子, 相澤文恵, 南 健太郎, 染矢美子, 雫石 聡, 宮崎秀夫, 米満正美: 歯肉炎治療効果予測因子の検討, 第52回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌53: 402, 2003), 北九州市, 2003年9月25-27日
- 16) 岸 洋志, 岡田 匠, 葎原明弘, 出口知也, 宮崎秀夫: 新潟市における成人歯科健診に関する考察, 第52回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌53: 408, 2003), 北九州市, 2003年9月25-27日
- 17) 安藤雄一, 高德幸男, 峯田和彦, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 市町村における歯科保健計画策定の支援を目的としたモデル調査事業の有用性, 第52回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌53: 420, 2003), 北九州市, 2003年9月25-27日
- 18) 吉岡節子, 松田あつ子, 佐久間汐子, 清田義和, 宮崎秀夫: アンケート結果にみられる予防歯科外来リコールの成果, 第52回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌53: 426, 2003), 北九州市, 2003年9月25-27日
- 19) 八木 稔, 西田康文, 小林秀人, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: フッ化物洗口集団応用への参加状況による齲蝕予防効果の比較, 第52回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌53: 435, 2003), 北九州市, 2003年9月25-27日
- 20) 濃野 要, 佐久間汐子, 古賀 寛, 西牟田守, 宮崎秀夫: 天然フッ化物(0.6 ppmF)地域における小児のフッ化物一日摂取量, 第52回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌53: 479, 2003), 北九州市, 2003年9月25-27日
- 21) 片岡照二郎, 佐久間汐子, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 萌出から5年間の第一大臼歯咬合面小窩の電気抵抗値変化, 第52回日本口腔衛生学会総会(口腔衛生会誌53: 485, 2003), 北九州市, 2003年9月25-27日
- 22) 佐藤雅子, 葎原明弘, 宮崎秀夫: 高齢者の周手術期における口腔ケアの有効性, 平成15年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2003年11月8日

う蝕学分野

【著 書】

- 1) 興地隆史, 須田英明(分担執筆): 植松 宏, 稲葉繁, 渡辺 誠編 高齢者歯科ガイドブック, 高齢者に対する歯内療法の考え方と実際, 148-155, 医歯薬出版(株), 東京, 2003.
- 2) 興地隆史(分担執筆): 須田英明, 恵比須繁之, 中川寛一編 エンドサージェリーのエッセンス アトラス・外科的歯内療法, 歯根切除法, 105-109, クインテッセンス出版(株), 東京, 2003.
- 3) 中垣晴男, 武井典子ら: 中垣晴男監修 生活習慣病予防・調査票づくり. (株)東山書房, 京都, 1-224, 2003.
- 4) 福島正義(分担執筆): 下条文武, 齋藤 康監修 ダイナミック・メディシン1, 医原性疾患としてのテトラサイクリン(TC)変色歯. 西村書店, 新潟, 2003.